

《教育目標》 身近な環境との関わりの中で主体的に活動し、創造性豊かな子どもを育成する

〈ふれあい つながり 育ち合い 笑顔あふれる都跡っこ〉

めざすこども園像

- 子ども自ら遊びを創るこども園
- なかまとともに育ちあうこども園
- 保護者や地域とともに歩むこども園

めざす子ども像

- 明るく元気な子ども
- 考えてやりぬこうとする子ども
- 生き生きと自分を表現する子ども

めざす保育教育士像

- 子どもに温かく寄り添い、一人一人の可能性を引き出す保育教育士
- 家庭、地域との連携を図る保育教育士
- 学び続け、互いに高まり合う保育教育士

《めざす子ども像を育成するための取組》

明るく元気な子ども

- ・家庭との連携により基本的な生活習慣、望ましい食習慣を育成する。
- ・日々の運動遊び、園外保育等による体力づくりをする。
- ・自他の生命と体を大切に様々な生活体験の充実を図る。

【奈良市教育振興基本計画】  
(平成28年1月策定)  
21世紀の社会をたくましく  
生き抜く人材の育成

生き生きと自分を表現する子ども

- ・心を動かし、友達と一緒に夢中になり、試したり工夫したりできる環境づくりをする。
- ・人の話をよく聞き、自分の思いを自分なりの言葉で話したくなるような雰囲気づくりを心がける。
- ・多様な感情体験により、折り合う力に通じる自制心や協調性、粘り強さを育成する。
- ・都跡、奈良の良さを体感できる経験の充実を図る。

考えてやりぬこうとする子ども

- ・主体的に環境にかかわり、試行錯誤しながら、友達と一緒に遊びを創り出せるような援助を心がける。
- ・めあてに向けて挑戦し、困難にめげず立ち向かい、やりぬく強い気持ちを持つよう、保育者や友達が認め、励まし支える。

＜本年度の取組重点＞

1 豊かな教育環境と安心できる笑顔あふれる園づくりをすすめ、共に育ち合えるようにする。

【本年度の研究主題】2年目 “したい” から始まる子どもの遊び

～ 一人一人の子どもの心の動きを見つめる ～

- ・研究主題について、昨年度の成果と課題を職員で共有し、記録をもとに研修を深める。
- ・一人一人の子どもの“したい”思いや、興味を持ったことに寄り添い、何に心が動いているのか、その要因を探り、子ども理解に努める。そして個々に応じた援助や環境構成を考え工夫する。
- ・“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿”を基に各年齢の子どもの育ちを捉えながら、学びの芽生えを育む教育・保育の推進を図る。

2 地域に開かれたこども園をめざし、子育て支援の充実を図る。

- ・保護者や地域の方々の協力を得て教育・保育を進めるとともに、地域の文化財や伝統行事等に関心を寄せることにより、都跡の町が大好きになり、誇りを持ち大切にしようとする気持ちを育む。
- ・預かり保育（なかよし広場）・0歳児からの未就園児親子登園（にこにこランド）を実施し、異年齢や親子での活動による育ち合いをめざす。また、園庭開放（ほぼ毎日）の実施、一人一人に応じた丁寧な子育て相談（随時）による子育て支援の充実を図る。

3 保育教育士の資質向上を図る。

- ・日々の保育実践の充実を図るための振り返りや記録の重視、園内研修及び研究保育・公開保育の実施、各種研修会への積極的な参加等に努め、学んだことを職員間で共有し、互いに高まり合うことができるようにする。
- ・幼児教育と小学校以上の教育を貫く“三つの柱”（◆知識・技能 ◆思考力・判断力・表現力等 ◆学びに向かう力・人間性等）の基礎を、遊びを通して総合的に指導することに努める。